

8月17日

長い歴史を持つバンドの熱いライブ
ジジバンドライブ2024

平均年齢65歳を超すベテランバンドによる「ジジバンドライブ」が社会福祉センターで開かれ、熱いライブが詰めかけた約120人のファンを熱狂させました。

この日は、白糠の老舗バンド「路地裏」をはじめ、釧路の「ザ・プロジェクト」と「ボビー・ソックス・ブルース・バンド」の3組が出演。ステージは約2時間で各バンドが最高の演奏を披露しました。



長い歴史を持つ白糠の老舗バンド「路地裏」の演奏



手本を見ながら真剣な表情で文字を書く子どもたち

8月11日

一筆ずつ心込めて
小中学生席書大会

白糠書道連盟主催の「小中学生席書大会」が社会福祉センターで開かれ、参加した児童生徒が学年ごとの課題に挑み、日ごろの練習の成果を競い合いました。

今年は小中学生32人が参加。「うし」「社会」「創造」など、学年ごとの課題が発表されると、子どもたちは真剣な面持ちで5枚の半紙に向かい、一筆ずつ心を込めて丁寧に文字を書き上げました。

8月12日～19日

バド強豪国インドネシアの選手と切磋琢磨
スポーツ国際交流事業

8月12日から19日の8日間、バドミントン強豪国であるインドネシア共和国から選手を招いた、スポーツ国際交流事業が総合体育館などで行われました。

町を訪れたのは、ハイカル・ジュニア・ロソビンさん(17)、カエサル・アルディアンシャーさん(15)、ジョイ・レストリ・シライトさん(16)、ジョアン・ハナ・シライトさん(15)の4人。

交流事業には愛知県や宮崎県など道外の選手も参加。

17日は総合体育館で大会が行われ、47人が優勝目指して競い合いました。男子の部でハイカルさん、女子の部でジョアンさんがそれぞれ優勝しました。ハイカルさんは「日本の選手はスマッシュやディフェンスが上手でした」、ジョアンさんは「最後まで諦めない姿勢を見習いたい」と話し、優勝を喜んでいました。

①決勝で激戦を繰り広げる、松下一誠さん(白糠学園8年)とハイカルさん②左から引率のバレリイさん(25)、カエサルさん、ハイカルさん、棚野孝夫町長、チャンドラさん、ジョイさん、ジョアンさん③川島眞澄教育長より優勝と準優勝にメダルと表彰状、3位には表彰状が手渡されました



8月4日

祈りを捧げ先祖に感謝
第46回ふるさと祭イチャルパ

白糠アイヌ協会(天内重樹会長)主催のアイヌ伝承儀式「第46回ふるさと祭イチャルパ」が、ウレシパチセと東山公園アイヌ弔魂碑広場で開かれました。

ふるさと祭では、ウレシパチセでカムイノミ(火の神への祈り)が行われた後、東山公園に会場を移し、ヌサオンカミとイチャルパの儀式が行われました。最後は全員で輪踊りを踊り、先祖を供養していました。



古式舞踊「輪踊り」を踊って先祖を供養する参加者

8月6日

恒久平和確立への誓いを新たに
殉公者追悼式

殉公者追悼式がやまびこ会館で開かれ、遺族や関係者など36人が参列し、戦争での犠牲者を悼みました。

式では、棚野孝夫町長が「戦争の悲惨さと平和の尊さを心に刻み、町民が生涯輝いて暮らせるまちを目指します」と式辞を述べ、遺族会の中河敏文会長は「二度と我々のような遺族を出さないために、平和の尊さありがたさを万世に継承します」と誓いました。



平和を祈念し献花をする遺族会の会員



司会を務めたDJカツノリさん

8月3日

男女の出会いの場
白糠グルメと恋する夕べ

男女の出会いの場をつくる恋活イベント「白糠グルメと恋する夕べ」が白糠振興センターで開催され、20歳以上の独身男女各15人が参加しました。

イベントでは「しらぬか応援大使」のDJカツノリさんが司会を担当し、会場を盛り上げました。参加者はチーズやラム肉のハンバーグ、ワインを味わうなど、白糠グルメを堪能しながら交流を深めていました。



おもちゃと本を受け取り笑顔の子どもたち

8月4日

NPO法人陽向ぼっこ
おもちゃと本を無料配布

食事支援事業などを行っている、NPO法人陽向ぼっこが、町内の子どもたちにおもちゃと本を配りました。

同法人では、2018年から毎年「おもちゃの図書館全国連絡会」よりおもちゃと本の提供を受けており、無料で配布するのは今回が初めて。この日は、たくさんのおもちゃたちが同法人を訪れ、ボードゲームやミニカーなどのおもちゃと本を受け取り、喜んでいました。